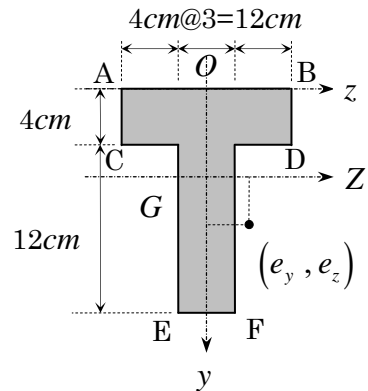


【5】右図に示すT型断面の『断面の核』を以下の手順で求め、図示せよ。

- (1) O - y, z 座標系において、T型断面の重心 $G(Y_G, 0)$ を求めよ。
- (2) 重心 G を通る y, Z 軸に関する断面2次モーメント I_y, I_z を求めよ。
- (3) 『断面の核』を斜線で図示せよ。



【解答】

『断面の核』を求めるためには、重心 G を通る主軸を求める必要がある。

そこで、まず、T型断面の重心 G を求める。このとき、右図に示すT型断面は、 y 軸に関して対称であるから、その重心 G は、 y, z 座標系において $(Y_G, 0)$ と表され、次の表から求められる。

	幅 b_i	高さ h_i	面積 A_i	重心 y_{Gi}	G_i	$A_i \cdot y^2$	I_{Gi}
I	12	4	48	2	96	768	64
II	4	12	48	10	480	768	576
計			96		576	1536	640

ここで、表中の記号は、 $G_i = A_i \cdot y_{Gi}$ 、 $A_i \cdot y^2 = A_i \cdot (y_{Gi} - Y_G)^2$ 、 $I_{Gi} = \frac{b_i h_i^3}{12}$ を意味する。

$$\therefore Y_G = \frac{G}{A} = \frac{576}{96} = 6 \text{ (cm)} \quad \text{したがって、} G(Y_G, 0) = (6, 0)$$

次に、右図に示した重心 G を通る y, Z 軸は主軸となるから、 y, Z 軸に関する断面2次モーメント I_y, I_z は、次のようになる。

$$I_z = A_i \cdot (y_{Gi} - Y_G)^2 + I_{Gi} = 1536 + 640 = 2176 \text{ (cm}^4\text{)}$$

$$I_y = \frac{4 \times 12^3}{12} + \frac{12 \times 4^3}{12} = 576 + 64 = 640 \text{ (cm}^4\text{)}$$

また、断面積 A は、 $A = 96 \text{ (cm}^2\text{)}$ だから、 y, Z 軸に関する回転半径をそれぞれ r_y, r_z とすると、

$$r_y^2 = \frac{I_y}{A} = \frac{640}{96} = \frac{20}{3} \cong 6.67 \text{ (cm}^2\text{)} \quad r_z^2 = \frac{I_z}{A} = \frac{2176}{96} = \frac{68}{3} \cong 22.67 \text{ (cm}^2\text{)}$$

ここで、載荷荷重の偏心位置を (e_y, e_z) とすると、中立軸は、 $1 + \frac{e_y}{r_z^2} y + \frac{e_z}{r_y^2} z = 0$ と表され、

中立軸が y, Z 軸と交わる点すなわち切片 n_y, n_z は、次のようになる。

$$n_y = -\frac{r_z^2}{e_y}, \quad n_z = -\frac{r_y^2}{e_z} \quad \text{逆に、} \quad e_y = -\frac{r_z^2}{n_y}, \quad e_z = -\frac{r_y^2}{n_z}$$

よって、『断面の核』の端の位置を決めるためには、中立軸が次の4通り(6通り)の限界位置にある場合について、載荷荷重の偏心位置 (e_y, e_z) を求めればよい。

(1) 直線 AB が中立軸になるとき、即ち、 $y = -6 \text{ (cm)}$ のとき、切片は、 $n_y = -6, n_z = \infty$ となるから、

$$e_y = -\frac{r_z^2}{n_y} = -\frac{68/3}{-6} = \frac{34}{9} \cong 3.78 \text{ (cm)} \quad \therefore K(e_y, e_z) = \left(\frac{34}{9}, 0 \right) \cong (3.78, 0)$$

$$e_z = -\frac{r_y^2}{n_z} = -\frac{20/3}{\infty} = 0 \text{ (cm)}$$

(2) 直線 AC または直線 BD が中立軸になるとき、即ち、 $Z = \pm 6 \text{ (cm)}$ のとき、切片は、 $n_y = \infty, n_z = \pm 6$ となるから、

$$e_y = -\frac{r_z^2}{n_y} = -\frac{68/3}{\infty} = 0 \text{ (cm)}$$

$$\therefore L(e_y, e_z) = \left(0, \mp \frac{10}{9}\right) \cong (0, \mp 1.11)$$

$$e_z = -\frac{r_y^2}{n_z} = -\frac{20/3}{\pm 6} = \mp \frac{10}{9} \cong \mp 1.11 \text{ (cm)}$$

(3) 直線 CE または直線 DF が中立軸になるとき、

$$C(Z, y) = C(-6, -2), E(-2, 10) \text{ だから、直線 CE は、 } y - 10 = \frac{-2 - 10}{-6 - (-2)}(Z + 2) \text{ 即ち、 } y = 3Z + 16$$

で表され、切片 n_y は、 $Z = 0$ として、 $n_y = 16 \text{ (cm)}$ 、切片 n_z は、 $y = 0$ として、 $n_z = -\frac{16}{3} \text{ (cm)}$

$$\text{また、 } D(Z, y) = D(6, -2), F(2, 10) \text{ だから、直線 DF は、 } y - 10 = \frac{-2 - 10}{6 - 2}(Z - 2) \text{ 即ち、 } y = -3Z + 16$$

で表され、切片 n_y は、 $Z = 0$ として、 $n_y = 16 \text{ (cm)}$ 、切片 n_z は、 $y = 0$ として、 $n_z = \frac{16}{3} \text{ (cm)}$

したがって、切片は、 $n_y = 16$ 、 $n_z = \mp \frac{16}{3}$ となるから、

$$e_y = -\frac{r_z^2}{n_y} = -\frac{68/3}{16} = -\frac{68}{48} = -\frac{17}{12} \cong -1.42 \text{ (cm)}$$

$$\therefore M(e_y, e_z) = \left(-\frac{17}{12}, \pm \frac{5}{4}\right) \cong (-1.42, \pm 1.25)$$

$$e_z = -\frac{r_y^2}{n_z} = -\frac{20/3}{\mp 16/3} = \pm \frac{20}{16} = \pm \frac{5}{4} = \pm 1.25 \text{ (cm)}$$

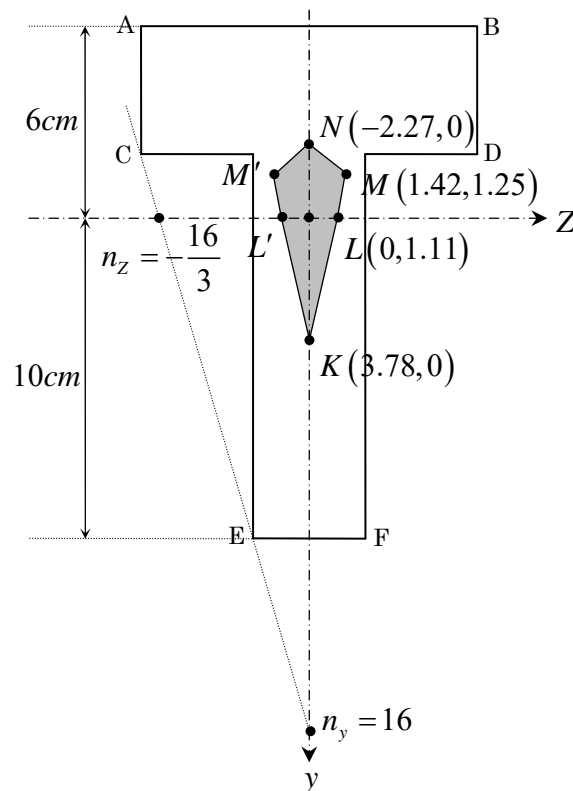
(4) 直線 EF が中立軸になるとき、即ち、 $y = 10 \text{ (cm)}$ のとき、切片は、 $n_y = 10$ 、 $n_z = \infty$ となるから、

$$e_y = -\frac{r_z^2}{n_y} = -\frac{68/3}{10} = -\frac{34}{15} \cong -2.27 \text{ (cm)}$$

$$\therefore N(e_y, e_z) = \left(-\frac{34}{15}, 0\right) \cong (-2.27, 0)$$

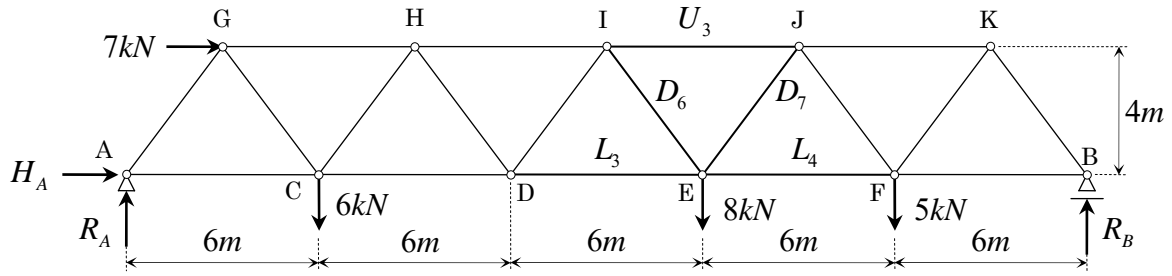
$$e_z = -\frac{r_y^2}{n_z} = -\frac{20/3}{\infty} = 0 \text{ (cm)}$$

以上をまとめて、「断面の核」を塗りつぶして図示すると下図のようになる。



【問題 SF-T-2】 下図に示す静定ワーレントラスについて、以下の設問に答えよ。

- (1) 支点反力 R_A , H_A , R_B を求めよ。
 (2) 部材力 U_3 , D_6 , D_7 , L_3 , L_4 を求めよ。



【解答】

(1) 支点反力 H_A , R_A , R_B を求めると、

水平方向の力の釣合から、 $H_A + 7 = 0 \quad \therefore H_A = -7 \text{ (kN)}$

鉛直方向の力の釣合から、 $R_A + R_B = 6 + 8 + 5 = 19$

A 点回りのモーメントの釣合から、

$$R_B \times 30m = 6kN \times 6m + 8kN \times 18m + 5kN \times 24m + 7kN \times 4m$$

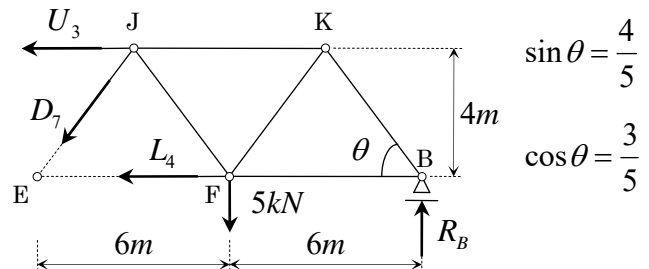
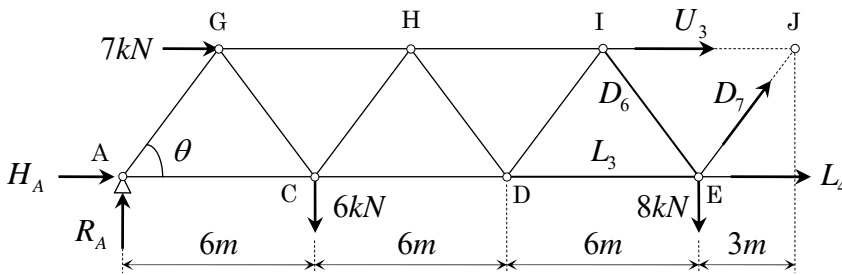
$$= 36 + 144 + 120 + 28 = 328$$

$$\therefore R_B = \frac{328}{30} = \frac{164}{15} \text{ (kN)} \quad \text{よって、} R_A = \frac{121}{15} \text{ (kN)}$$

以上をまとめると、 $R_A = \frac{121}{15} \text{ (kN)}$, $H_A = -7 \text{ (kN)}$, $R_B = \frac{164}{15} \text{ (kN)}$

(2) 部材力は、“断面法（切断法）”を基本として求める。

このため、下図に示すように $t-t$ で切断して、左自由体と右自由体それぞれについて考える。



$$\sin \theta = \frac{4}{5}$$

$$\cos \theta = \frac{3}{5}$$

[左自由体について]

水平方向の力の釣合から、

$$H_A + 7 + U_3 + D_7 \cos \theta + L_4 = 0$$

鉛直方向の力の釣合から、

$$D_7 \sin \theta + R_A = 6 + 8$$

[右自由体について]

$$U_3 + D_7 \cos \theta + L_4 = 0$$

$$D_7 \sin \theta + 5 = R_B$$

$$\therefore \frac{4}{5}D_7 = 14 - \frac{121}{15} = \frac{89}{15}$$

$$\therefore D_7 = \frac{89}{15} \cdot \frac{5}{4} = \frac{89}{12} \text{ (kN)}$$

J 点回りのモーメントの釣合から、

$$4L_4 + 4H_A + 6kN \times 15m + 8kN \times 3m = R_A \times 21m$$

$$\therefore 4L_4 - 28 + 90 + 24 = \frac{121}{15} \cdot 21 = \frac{847}{5}$$

$$\therefore 4L_4 = \frac{847}{5} - 86 = \frac{847 - 430}{5} = \frac{417}{5}$$

$$\therefore L_4 = \frac{417}{20} \text{ (kN)}$$

E 点回りのモーメントの釣合から、

$$4U_3 + 7kN \times 4m + R_A \times 18m = 6kN \times 12m$$

$$\therefore 4U_3 + 28 + \frac{121}{15} \cdot 18 = 72$$

$$\therefore 4U_3 = 72 - \frac{726}{5} - 28 = 44 - \frac{726}{5}$$

$$= \frac{220 - 726}{5} = -\frac{506}{5}$$

$$\therefore U_3 = -\frac{506}{20} = -\frac{253}{10} \text{ (kN)}$$

$$\therefore \frac{4}{5}D_7 = \frac{164}{15} - 5 = \frac{89}{15}$$

$$4L_4 + 5kN \times 3m = R_B \times 9m$$

$$\therefore 4L_4 + 15 = \frac{164}{15} \cdot 9 = \frac{492}{5}$$

$$\therefore 4L_4 = \frac{492}{5} - 15 = \frac{492 - 75}{5} = \frac{417}{5}$$

$$4U_3 + R_B \times 12m = 5kN \times 6m$$

$$\therefore 4U_3 + \frac{164}{15} \cdot 12 = 30$$

$$\therefore 4U_3 = 30 - \frac{656}{5}$$

$$= \frac{150 - 656}{5} = -\frac{506}{5}$$

次に、 E 点での力の釣合を考えると、

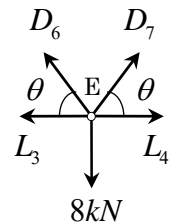
鉛直方向の力の釣合から、 $D_6 \sin \theta + D_7 \sin \theta = 8$

$$\therefore \frac{4}{5}(D_6 + D_7) = 8 \quad \therefore D_6 + D_7 = 10$$

$$\therefore D_6 = 10 - D_7 = 10 - \frac{89}{12} = \frac{120 - 89}{12} = \frac{31}{12} \text{ (kN)}$$

水平方向の力の釣合から、 $L_3 + D_6 \cos \theta = L_4 + D_7 \cos \theta$

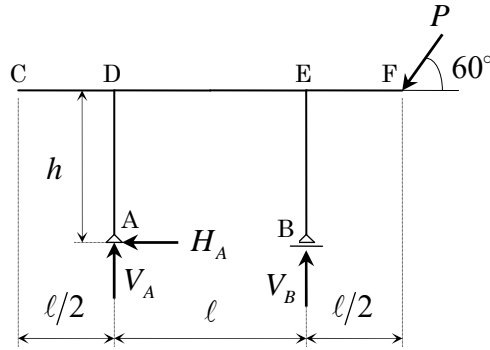
$$\therefore L_3 = L_4 + \frac{3}{5}(D_7 - D_6) = \frac{417}{20} + \frac{3}{5}\left(\frac{89}{12} - \frac{31}{12}\right) = \frac{417}{20} + \frac{3}{5} \cdot \frac{68}{12} = \frac{417}{20} + \frac{68}{20} = \frac{485}{20} = \frac{95}{4} \text{ (kN)}$$



以上をまとめると、

$$\boxed{U_3 = -\frac{253}{10} \text{ (kN)}}, \quad \boxed{D_6 = \frac{31}{12} \text{ (kN)}}, \quad \boxed{D_7 = \frac{89}{12} \text{ (kN)}}, \quad \boxed{L_3 = \frac{95}{4} \text{ (kN)}}, \quad \boxed{L_4 = \frac{417}{20} \text{ (kN)}}$$

【問題 SF-R-2】 下図に示す静定ラーメンの断面力図、すなわち、軸方向力図 (N -図), せん断力図 (Q -図), 曲げモーメント図 (M -図) を図示せよ。



【解答】

荷重 P を鉛直方向と水平方向に分解すると、

$$\text{鉛直荷重} \quad P \sin 60^\circ = \frac{\sqrt{3}}{2} P$$

$$\text{水平荷重} \quad P \cos 60^\circ = \frac{1}{2} P$$

となり、右図のようになる。

このとき、支点反力 V_A , H_A , V_B を剛体の釣合条件より求めると、次のようになる。

$$\text{水平方向の力の釣合から、} \quad H_A + \frac{1}{2} P = 0 \quad \therefore H_A = -\frac{1}{2} P$$

$$\text{鉛直方向の力の釣合から、} \quad V_A + V_B = \frac{\sqrt{3}}{2} P$$

$$A \text{ 点回りのモーメントの釣合から、} \quad V_B \cdot \ell + \frac{1}{2} P \cdot h = \frac{\sqrt{3}}{2} P \cdot \left(\ell + \frac{\ell}{2} \right)$$

$$\therefore V_B = \frac{3\sqrt{3}}{4} P - \frac{1}{2} P \cdot \frac{h}{\ell} = \frac{P}{2} \cdot \left(\frac{3\sqrt{3}}{2} - \frac{h}{\ell} \right) \quad \therefore V_A = \frac{P}{2} \cdot \left(\frac{h}{\ell} - \frac{\sqrt{3}}{2} \right)$$

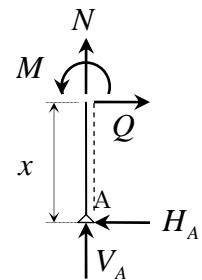
これらを用いて、部材 AD , BE , CD , DE , EF 毎に断面力 N , Q , M を求めて行く。

部材 AD について、

$$N + V_A = 0 \quad \therefore N = -V_A = -\frac{P}{2} \cdot \left(\frac{h}{\ell} - \frac{\sqrt{3}}{2} \right)$$

$$Q = H_A = -\frac{1}{2} P$$

$$M = H_A x = -\frac{1}{2} P x$$

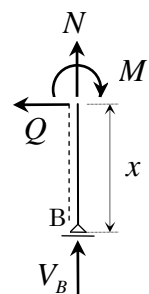


部材 BE について、

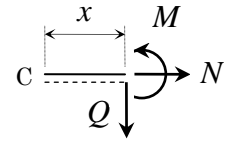
$$N + V_B = 0 \quad \therefore N = -V_B = -\frac{P}{2} \cdot \left(\frac{3\sqrt{3}}{2} - \frac{h}{\ell} \right)$$

$$Q = 0$$

$$M = 0$$



部材 CD について、
 $N = Q = M = 0$

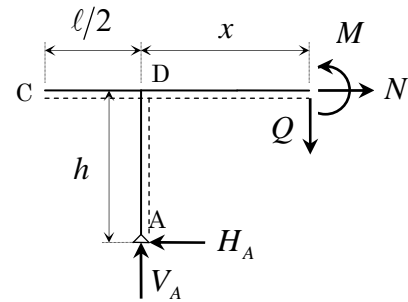


部材 DE について、

$$N = H_A = -\frac{1}{2}P$$

$$Q = V_A = \frac{P}{2} \cdot \left(\frac{h}{\ell} - \frac{\sqrt{3}}{2} \right)$$

$$M = V_A x + H_A h = \frac{P}{2} \cdot \left(\frac{h}{\ell} - \frac{\sqrt{3}}{2} \right) \cdot x - \frac{1}{2}Ph$$

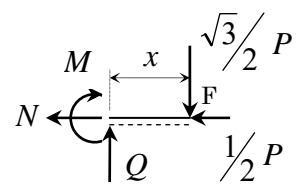


部材 EF について、

$$N + \frac{1}{2}P = 0 \quad \therefore N = -\frac{1}{2}P$$

$$Q = \frac{\sqrt{3}}{2}P$$

$$M + \frac{\sqrt{3}}{2}Px = 0 \quad \therefore M = -\frac{\sqrt{3}}{2}Px$$



以上をまとめて、断面力図を図示すると下図のようになる。

